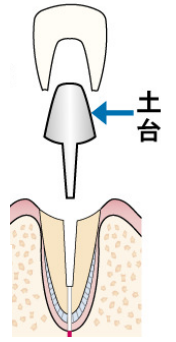


✓ 歯の「土台」の種類のお話

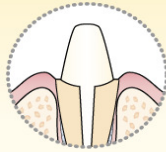
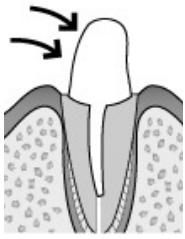
むし歯になった部分を取り除き、歯の根の治療を行った場合は、被せものを支える台としてコア(土台)を作ります。どうしても目に見える歯冠部分の治療にばかり目が行きがちですが治療が長持ちするかなど治療後のお口全体の健康維持からは、この見えない土台の治療がとても重要なポイントになります。



代表的な土台(コア)の種類

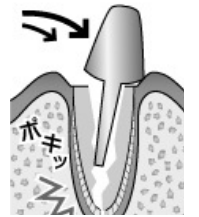
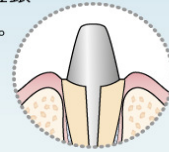
ファイバーコア(樹脂製の土台)

これまで土台(コア)の素材は金属でしたが、近年はしなりのあるグラスファイバーで強化した樹脂素材が登場しています。これがファイバーコアです。グラスファイバーは弾性が象牙質に近く、歯にかかる負担が大幅に軽くなります。金属の土台(コア)が抱えていた問題を大きく解決し、治療後の歯の維持に良い結果をだしています。



金属コア(金属の土台)

これまで土台に使われてきた金属は、硬さや色などが歯の性質とかけ離れていました。そのため、残した歯が折れたり割れたり、歯肉が変色したりなどの問題がおきました。保険が適用されるものは、金銀パラジウム合金(銀色)です。保険適用外では、金合金(金色)があります。



「ファイバーコア ポスト システム」の特徴

- ① 歯に似たしなやかさ・・・従来の金属コアは硬いため、歯根が折れて抜歯になることがありました。ファイバーコアは適度なしなやかさがあります。さらに最新の接着システムと組み合わせることにより歯根と一体化させ、衝撃を吸収することで歯根を壊しにくく、歯に優しい治療法です。
- ② 美しく自然な仕上がり・・・歯は光を透過しますが、金属製のコアは全く光を透過しません。ファイバーコアポストで作られたコアは光の透過も歯に近く、とても自然でオールセラミックに最適です。歯ぐきの黒ずみも起こりにくくなります。
- ③ 金属を使わないから・・・金属イオンの溶出による腐食や金属アレルギーの心配もありません。歯ぐきにも体にも安全で優しい治療法です。

VOICE 体験談

歯医者さんという昔から自分の不養生は棚に上げて「いやだ」「こわい」「行きたくない」という印象しか持っていませんでしたが、今は違います。・・・中略・・・歯は、健康を維持していく上でとっても大切なこともしっかり理解できるようになりました。歯が痛くてしかめた顔では幸せは逃げていってしまいます。

私にとってよい先生に出会えたことが、とっても毎日の生活にパッピイなのです。

医院でお仕事をしていらっしゃる看護婦さん、事務をしていらっしゃる方々。みんなみんなありがとうございます。(K.A様 78歳 女性 メンテナンス歴 13年)

院長コメント:こちらこそありがとうございます。8020達成は目前です。今後も健康を維持し、ハッピーな生活を謳歌しましょう。

VOICE 体験談

10代の頃から虫歯と歯の変色に悩んでいました。数年前に他の歯科医院で前歯2本をセラミックの被せものをしてもらいましたが、色も形も悪く、人前で歯を見せて笑えなくなっていました。

今回、加藤先生にいろいろと相談にのっていただき、オールセラミックのクラウンとラミネートベニア計4本の治療をお願いしました。

仮歯の期間が少し長く感じましたが、待ったかいがあり、とても満足しています。

形も色も自然で、今は人前でも気にせず笑えるようになりました。本当にありがとうございました。(4

院長:ありがとうございます。とてもきれいになり私達も喜んでおります。今後は良い状態を維持するお手伝いをさせていただきます。